

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日：令和 5 年 5 月 10 日

公表:令和 6 年 5 月 20 日

事業所名：キッズサポートみずほ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・最適です。	・人数、発達段階、年齢、相性等に配慮し、安全かつのびのびと過ごせる様に、物の配置や高さなどにも気を配り、支援を行っています。
	2	職員の配置数は適切である	○		・資格者が既定の配置人数を確保しつつ、突然の病欠などでも対応できるように人員の拡充に努めています。	・配置人数のほか、職員のキャリアアップが図れるよう経験者や有資格者と若年次職員のバランスを考慮しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	・建物の2階に事業所があり、階段には手すりが設けてあります。室内は、トイレ、和室、事務所に少し段差があります。危険がないよう常に声掛け、職員が必ずついて昇り降りしています。	・これからも、危険がないよう継続していくとともに、利用者が落ち着いて過ごしたり、活動に集中できるように、広々としたスペースをうまく利用した支援や工夫に努めてまいります。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・朝礼終礼を実施することで毎日職員間で情報を共有し、業務の改善を努めています。	・月に1回の定例会議や毎日の支援前後の朝礼終礼で、改善すべき内容は日々話し合いをしていき、すぐに実行、改善し振り返りを行っています。 ・発言しやすい開かれた職場環境を整備していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年実施していきます。	・保護者等の意向を把握し、業務改善に取り組んでいきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年実施のに、自社のHP及び名古屋子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」にて公開しています。	・これからも継続していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・現在検討中です。	・導入に向けて検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・社外、社内研修を通じて研修を行い、職員の資質の向上に努めています。利用者児童が幅広いため、年齢や発達段階、特性に沿った研修を受けています。	・これからも継続していきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・職員間で支援会議を行い、そこで出た意見を踏まえて支援計画書を作成しています。	・これからも継続していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシートを使用し、状況を把握しています。	・毎年アセスメントシートの内容を確認し、その都度適した項目を検討しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・活動プログラムの立案は職員全員で意見交換をし、利用者様への支援が効率的且つ円滑に進められるように協議を行っています。	・日々の活動計画書は、複数の職員で確認し合い、児童の特性にあったものやねらいに基づいて支援ができるように行っています。 ・季節に合わせた活動を取り入れたり、休日や長期休暇は平日できない活動を行うなど内容を工夫しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・利用者や保護者の意見を取り入れたり、職員同士で話し合ったりして様々なアイデアを取り入れプログラムの改良を行っています。	・季節や発達段階、利用者の好みや様子を見て、より様々なニーズに応えられるよう活動内容の選択肢を広げて行くとともに、利用者の「できた！」「やってみよう！」を増やしていけるよう職員同士で話し合い活動プログラムを考えていきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・日々の活動計画書は、複数の職員で確認したり、実際に体験しながら活動計画を立てています。 ・季節に合わせた活動を取り入れ、休日や長期休暇は平日にはできない活動を行うなど様々な工夫をしています。	・調理、工作、運動など、様々な支援ができるよう引き続き設定し、更に良い活動が行えるように工夫していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・グループ療育が中心だが、必要に応じて個別での療育の機会を設けており、個々に合わせて実施しています。	・これからも継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・日々の朝礼終礼にて活動内容や子どもの支援について話し合い、打ち合わせの時間を設けています。	・事前の打ち合わせ、事後の振り返りは大切なので、これからも持続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・終礼にてその日の活動内容の振り返りや子どもの様子、支援について話し合いをしています。	・これからも継続していきます。

	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・日々の支援の中で、気になったことや気づいたこと、子どもの様子、支援内容などその都度話し合い記録を残しています。	・これからも継続していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月の間に一度、モニタリングを行っています。モニタリングをもとに計画の持続や更新等の見直しをしています。	・利用者の障害の特性をより理解したうえでサービス計画を立案するよう、努めています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	○		・ガイドラインに沿った内容で職員間で共有しながら活動を行っています。	・総則の基本活動の理解によって、より厚い基本活動を行えるため、全スタッフのより深い知識と理解に努めてまいります。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が参加しています。	・これからも継続していきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・送迎時に子どもの様子や情報交換等を行い、連携しています。 ・送迎の都合で時間が前後する場合には、事前に連絡しています。	・これからも継続していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていません。	・今後利用があった場合に備えて情報を集めています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・相談支援員を通じて行っています。	・今後保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めてまいります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		・必要があれば行っています。	・学校や障がい福祉サービス事業所等の情報共有し、スムーズに行えるように準備していきます。 ・障害福祉サービス等からの情報を求められた際は、保護者の承諾を得て情報提供していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	・昨今、対面での打ち合わせが少ないため、多くの情報をいただけるよう、効率化を図っております。	・定期的に、情報交換などできる機会が設けられるように働きかけをしています。 ・ZOOMなど遠隔でも連携や助言が頂けるように環境を整備してまいります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・障がいのない子どもと活動する機会は、行っておりません。	・現状、障がいのない子どもと活動する機会はないですが、共に活動することを見据えたプログラムや活動内容を模索しております。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○	・参加できていません。	・今後、積極的に参加していきたいと思います。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・日々の連絡帳や送迎時に子どもの様子をお伝えしています。必要に応じて電話や面談の機会を設けるようにしています。	・モニタリングの機会だけではなく、普段の利用の際にもお子さんの成長の姿や課題に対する意見交換を細やかに行えるように徹底してまいります。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・プログラムとしては行っていないですが、個別の相談に応じ、支援しています。	・保護者の方にも参加いただける勉強会などを実施してご自宅で行える支援のやり方や方法をお伝えできるよう努めてまいります。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明しています。	・各スタッフが運営規定、支援の内容、利用負担額等について十分な理解をしたうえで説明が行えるよう、理解を深めてまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談があった場合は、送迎時や電話にて対応し、職員間で情報共有しています。	・これからも継続していきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・現在行っておりませんが、当社スタッフを中継とし、情報を共有しております。	・感染対策を行い、対面での実施に向けた取り組みを行ってまいります。また、ご要望に応じてZOOMなどで保護者会開催の方法を模索できればと存じます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情があった場合は第一に内容の理解に努め、問題の解決に向け速やかに対応させていただいております。	・これからも継続していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・SNSにおいて、活動の様子について定期的に配信させていただいております。	・より多くの方に見ていただけるように周知します。
	35	個人情報に十分注意している	○		・全職員が秘密情報の保持について誓約書を書いています。	・定期的に個人情報の取り扱いについて職員間で確認しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・構造化や情報の図示などしています。 ・利用日の確認や送迎時刻の連絡などこまめにLINEで伝達しています。	・配慮事項を職員間で共有し、よりよいものを作成して連絡ミスがないようにいたします。 ・個別で伝えるには、意思疎通の手段や選択肢を複数用意し、具体化できるようにします。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・現状、行っておりませんが、地域に根付いた運営を行う方法を現在模索しております。	・広く理解を頂けるために開催の方法について今後検討してまいります。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	・定期的にマニュアルの見直しを行っています。 ・訓練なども月に1度実施しています。	・定期的に保護者の方にもマニュアルについて周知するようにいたします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		○	・毎月、非常災害を想定した避難訓練を実施や防災についての学習を行っています。	・今まで以上に子どもたちが非常災害を身近に感じ、考えられるような訓練や学習を考えています。 ・危険箇所がないかの確認を定期的に行います。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	・虐待になる行為について職員間で確認しています。	・今後も、定期的に職員間で虐待になる行為を確認し、意識の向上を図っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	・身体拘束について職員間で確認しています。現在該当する利用者はいません。	・必要に応じて保護者への事前説明をしっかりと行い、支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	・保護者からアレルギーの情報を得ています。職員間で確認し共有しています。	・必要であれば医師の指示書をいただくように対応します。 ・職員間での情報共有をより進めていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	・事案発生時には、朝礼終礼で職員間でこまめに情報共有しています。	・各スタッフがすぐに手に取って振り返れるように事務所内の目につく場所に格納できるようにしていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。